

## ● 事業の背景

### 沖縄市の現状

- 沖縄市は年々人口が増えつづけている一方で失業率が高い。(H27国調7.2%)
- 市面積の約35%を占める米軍基地等の存在によって新たな開発用地が不足しており、生活や地域振興に様々な影響を及ぼしている。

### 県の問題

- 那覇市を中心とする西海岸地域への都市機能、商業機能の集中が進展するなか、本島中部圏東海岸地域の活力の低下が著しい。



### 沖縄市の課題

- 雇用創出
- 街の活性化
- 高齢化の進展

### 県の課題

- 本島中部圏の均衡ある発展のための拠点形成
- 新港地区東ふ頭における港湾機能の早期発現

### 国の目的

- 沖縄振興開発の主要プロジェクトとして新港地区国際物流ターミナルの整備

⇒ 泊地浚渫土の有効活用

解決のために

## 東部海浜開発事業

スポーツコンベンション拠点の形成  
「スポーツ」「健康・医療」「交流」

## ● 国、県、市の事業内容



国 国際物流ターミナル整備事業  
泊地浚渫

県 中城湾港(泡瀬地区)埋立事業  
港湾施設等整備

市 東部海浜開発事業  
土地利用(まちづくり)

# 東部海浜開発計画の概要

\ ON YouTube /



紹介動画 ▶ 公開中!



発行 沖縄市 建設部 東部海浜開発局 計画調整課  
TEL 098-939-1212 (内線2674)  
FAX 098-939-6313

HP/沖縄市トップページ (<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>)  
→ 各課からの情報発信 → 計画調整課

平成30年7月改定

品 沖 縄 市



# 東部海浜開発計画の基本方針

## 開発コンセプト

# スポーツコンベンション拠点の形成

## キーワード

スポーツ

健康・医療

交流

## 〈開発の基本方針〉

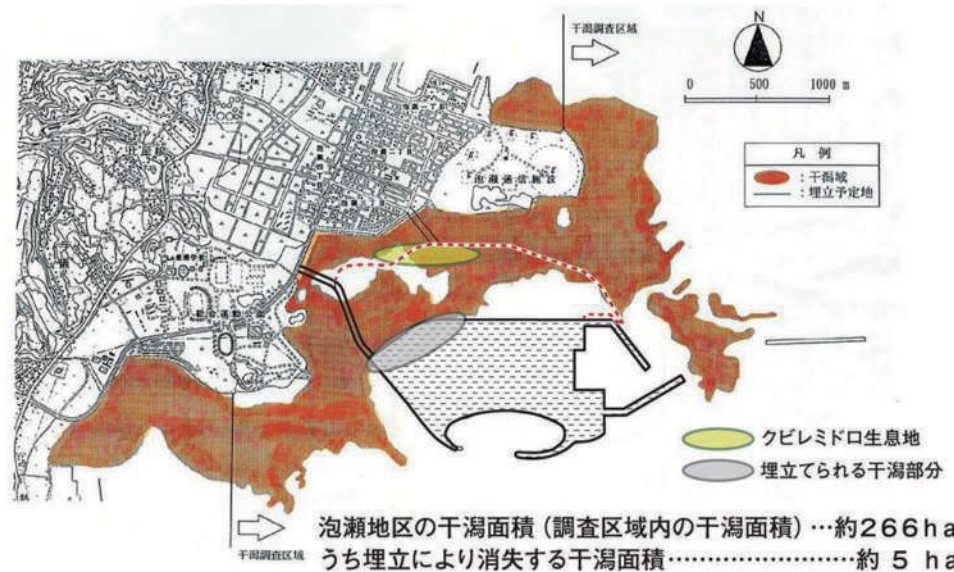
「スポーツ」「健康・医療」「交流」をメインテーマとした開発を目指し、海に囲まれた緑豊かな環境の中で、スポーツや医療・保養などを通じて県民や市民、観光客が交流・健康づくりを行える空間を創出します。

## 主な効果

- 中城湾の静穏な海域と県内最大となる市街地近接の約900mの人工ビーチの整備により、これまで本市で行えなかったビーチスポーツやマリンスポーツなどへの場を提供
- 本島の中部に位置し、那覇空港や北部にも概ね1時間でアクセスできる利便性を活かし、各種大会や合宿の誘致
- スポーツイベントなどによりコザ運動公園、県総合運動公園と連携した回遊性を創出することで、中心市街地と一体となった活性化の実現
- チャンプルー文化に代表される独特の雰囲気をもつ中心市街地との連携
- 外国人、観光客、市民、県民が交流する場の提供
- 高齢化が進む中、生涯スポーツの振興を図るとともに、豊かな自然の中で癒され、健康づくりや治療、リハビリなどが行える健康・福祉に関する活動の拠点を形成
- 県民・市民、観光客やスポーツ競技者などを集客することによって新たな就業の場を創出

## 環境への主な配慮

- 埋立区域の縮小による干潟及びクビレミドロ生息地の保全  
泡瀬干潟の約98%を保全
- 港湾施設以外の周囲に環境ゾーンとして緑地を配置  
外周に緑地を配置することで埋立地の全体を緑が包み込む環境を創出
- 人工ビーチ背後に幅100m以上の海浜緑地を整備  
また、人工ビーチの一部に人の出入りを制限する生物聖域ゾーンを位置付け、原風景の創出とオカヤドカリ類（天然記念物）の生息場を創出
- 野鳥園の整備  
野鳥の生息空間を創出するとともに、環境学習の場として活用



# 土地利用計画イメージ 利用総面積 95ha

道路・護岸用地 用地15.7ha



## 〈多目的広場〉

16.0ha



## 〈商業施設〉

5.5ha



## 〈交流施設〉

2.0ha



## 〈栽培漁業施設〉

2.0ha



## 〈野鳥園・外周緑地〉

7.5ha



## 〈健康医療施設〉

8.0ha



## 〈人工ビーチ〉

15.4ha



## 〈宿泊施設〉

16.2ha



## 〈小型船だまり〉

1.0ha



## 〈臨海商業施設〉

3.0ha



## 〈マリーナ〉

2.7ha